

令和5年度 鳥取県作業療法士会 理事会立候補者一覧
(敬称略・掲載は立候補届の受理順です)

理事候補	梅津 清司郎	YMCA米子医療福祉専門学校
	<p>3期6年間、財務部長として鳥取県士会の会計業務を務めて参りました。日ごろから会員の皆様のご協力があり大きな問題なく管理運営をさせていただくことができました。ありがとうございます。</p> <p>財務部は管理運営部門のため普段の活動内容が分かりにくい印象がありますが、この6年間で予算書・決算書の刷新、備品管理台帳の新規作成・管理、コロナ禍による非対面への対応（年会費の銀行振込や研修参加費・講師報酬）など通常業務である会費管理や予算配分だけでなく財務に関する効率的な運営を心がけてきました。まだまだ工夫の余地はあると思っております。引き続き、会員の皆様とともに学び、管理運営、情報伝達を通して鳥取県士会の発展に貢献していきたいと思っております。どうぞ、よろしく願い申し上げます。</p>	
理事候補	高梨 悠一	YMCA米子医療福祉専門学校
	<p>学術部長として2期務めました。コロナの影響もありテーマ別勉強会の動きは鈍化していますが、Zoomを用いたオンライン勉強会なども少しずつ動き出しております。学会に関しては第18回の県学会を初のハイブリッドで2日間開催し、SNSなどの立ち上げも行いました。またアーカイブを残すなど新たな取り組みにも挑戦しました。</p> <p>さて、立候補する理由ですが、役員選挙を実現したいという思いからです。これまでは役員選挙が成立していないため立候補すれば当選という形になっていますが、やはり民主的に選ばれるのが本来の姿だと思うからです。ちなみに私は理事の役職にしがみ付きたいとは思っていませんが、役員を経験することで県士会役員の方々の表には出ない様々な仕事を間近で見ることができ大変勉強になっています。1人でも多くの県士会員が県士会の存在や活動に興味を持てるような県士会にもしていきたいと思っております。</p>	
理事候補	原田 伸吾	株式会社つむぎ
	<p>平成29年より当会の理事を務めさせていただいており、倫理委員長と地域包括ケアシステム対策委員の東部推進リーダーを担当させていただいております。倫理委員会に関しては、専用の相談メールアドレスを作成しております。ハラスメント等で悩まれたり困られたりした際はご連絡ください。また、地域包括ケアシステムに関しては、高齢者だけではなく、こどもから高齢者まで全ての方が、住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らし続けられるという、地域共生社会の構築という考え方に広がってきております。この地域共生社会を構築するためには、作業的公正な社会でなければならないと私は思っています。従って、作業療法士が地域共生社会の構築に向けて積極的に参画することで、地域に貢献できると考えています。より多くの作業療法士が活躍できる機会を増やすために尽力したいと思っておりますので、何卒よろしく願い致します。</p>	
理事候補	小山 雅之	SOI STANCE
	<p>今回3期目の立候補となります。これまでの2期4年間は、事業部として中国ブロック研修、介護ロボット事業、福祉用具相談支援事業、訪問リハ実務者研修会、臨床実習指導者講習会の運営等に携わらせて頂きました。中国ブロック研修は令和5年度は当士会が開催ホスト県となりますので、中国地方の士会員の皆様との研修・交流を図り、有意義な研修会にしたいと考えています。福祉用具相談支援システムはOT協会も進めて行こうとしておりますが、まだまだ認知度が低い状況です。これも今後の課題です。臨床実習指導者講習会では3年間で約140名の修了者を輩出しましたが、今後も継続が必要な講習会です。3期目では新たに士会員の皆様への福利厚生についても取り組んでいきたいと考えております。理事として、今後も上記の事業について引き続き進捗していきたいと考え、立候補しました。</p>	

理事候補

永見 忠志

医療法人 友絃会 皆生温泉病院



昨年度まで副会長並びに地域包括ケアシステム対策委員会の責任者を務めさせていただきました。会員の皆様とは研修会を通じ、作業療法士の専門性や地域住民に貢献できることは何かを考える機会を頂きました。各市町村では地域包括ケアシステムの構築に向けた事業が徐々に広がりを見せています。それに伴い作業療法士が地域から必要とされる機会は益々増えて来るものと予測されます。システムの一役を担うべく専門性を生かした活動ができること、多職種との連携を強化させることがより重要になると考えています。

地域の中で作業療法士が当たり前活躍できる体制、地域で欠かせない魅力ある専門職種だと発信できるような活動をしたいと考えています。

会員のみなさんが地域・住民にとって、魅力ある作業療法士として活躍できる体制の実現・情報の配信など少しでもお役に立てればと考えています。

よろしくお願い致します。

理事候補

田中 寿美

自宅会員



私はこれまで2期4年間、財務副部長として県士会活動に携わらせていただきました。任期の期間は会費管理等の業務に取り組みましたが、各部長への報告や相談を行うことで大きな不手際もなく務めさせて頂くことができました。

県士会活動の中で会費についての問い合わせの対応等を行わせていただく機会が増え、管理について効率よく丁寧に行えるよう今後も考えながら取り組む必要があると感じました。

不慣れな点もあり、私自身日々学びながら取り組んでおりますが、今後も会員の皆様にとって県士会活動がより行いやすいよう微力ながらも貢献させていただきたく立候補いたしました。よろしくお願ひいたします。

理事候補

川上 紘司

錦海リハビリテーション病院 訪問リハビリテーション



この度、鳥取県作業療法士会の役員候補者選挙に立候補させていただきます。社会福祉法人こうほうえん錦海リハビリテーション病院の訪問リハビリテーションに所属しています川上紘司と申します。

私自身、10年間鳥取県の臨床現場に従事し、その後養成校の教員を数年間務め、現在再び鳥取県の臨床現場に従事しています。臨床現場や教育現場の経験を経て、私自身の経験を微力ながらも、山陰の地域社会に還元したい思いがあります。また、教育現場での経験で、作業療法士の専門性とは何か？一般的に周りから評価を得るのに認識が難しい点を学びました。そのような経験からも、今後の未来に向けて、鳥取県作業療法士会の後輩育成や県士会の発展に携わりたい思いで一杯です。鳥取県作業療法士会の発展とともに、私自身も作業療法士、人間として成長していきたいと考えております。よろしくお願ひ致します。

理事候補

田住 秀之

YMCA米子医療福祉専門学校



これまでの4期8年間、理事として主に認知症対策委員長を務めてきました。急務である認知症に対応できる人材育成については、100名を超える認知症研修修了者を登録することができ、県下における認知症初期集中支援チームや介護・認知症予防の事業協力、認知症の人と家族の会への派遣協力など、県士会として関係機関との連携強化と新規事業協力につなげることが出来ました。

今後も認知症支援に関する人材育成と事業協力を進めつつ、新たに精神障害領域の作業療法、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについても重点課題として取り上げ、作業療法士の強みを生かせる機会創出に取り組みたいと考えております。そして、作業療法士会が“生きづらさを抱える誰もが暮らしやすい街づくり”に貢献できるよう実績を積み上げ、地域との関係・信頼基盤の構築につなげていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

理事候補

菊本 理恵

YMCA米子医療福祉専門学校



私はこれまでの2期4年間、事務局長として法改正に伴う各種書式や手続き等の見直し、体制整備なども含めた県士会の管理運営業務に携わらせていただきました。県士会活動を通して地域の皆さまや多職種の方と一緒に活動し情報交換を行う中で、地域には様々なニーズがあることを改めて実感しています。そのニーズに答えていくためには派遣体制づくりはもちろんのこと、会員皆様への情報発信や情報へアクセスしやすい状況を創ることも必要だと感じています。引き続き、士会としての基盤の整備および作業療法の普及啓発を行いながら、会員皆様の強みを活かせる機会を広げ、求められる場に応じた人材派遣ができる体制づくりの一助を担っていければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事候補

段 敬史

介護老人保健施設サンライズ名和



私の理事としての経験は7期になります。会長として2期を終えますがここ数年は新型コロナの感染拡大に伴い、日常業務をはじめ様々なところに支障が生じました。士会活動においても工夫が求められた2年間でした。その中で私自身がどれだけ役割を果たせたかふりかえると十分とは言えないと思っています。私の立場から士会のことをもっと会員の皆様へお伝えすることが出来たのではないかと思うところです。コロナ禍とはいえ近年の会員数が増えない現状からも、誰もが参加しやすい士会となるよう体制づくりが必要と考えます。来期、理事としての役割を担う機会をいただけたらとすれば、より良い士会にしていくために与えられた役割を果たせるよう努めます。

理事候補

松本 周三

鳥取県中部医師会立 三朝温泉病院



この度、鳥取県作業療法士会の理事候補に立候補しました、鳥取県中部医師会立三朝温泉病院の松本周三と申します。2期目の立候補となります。1期目の2年間は広報部部長を担当させていただきました。その間、既存事業の見直しを主軸に関与して参り、会員のみならずに見える部分ではないですが、広報部局内の運用方法の変更を行いました。ただ、まだ事業の多くの見直しには至っておらず、引き続き携わっていきたくと考えております。今期では、「作業療法」について会員のみならず、県民に知ってもらうためには何をすべきか、について考えていき、形としていく、そのような任期としたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

理事候補

北山 朋宏

錦海リハビリテーション病院



教育部長として2期ほど務めさせていただきましたが、その間は生涯教育手帳の電子化や、コロナ感染症に対応した新たな現職者共通研修会（生涯教育）の開催など、今まで前例のないことばかりでした。その為、地に足を付けて仕事が出来ていたかという点、正直不十分であったと感じております。しかしようやく生涯教育制度についての理解も深まってきて、県士会員の為に何をすべきか見えてきたところでもあります。ただの有資格者だけではいずれ淘汰される時代が来るかもしれません。学ぶことは己の身を助けることに繋がります。是非県士会員にとって学びの多い鳥取県作業療法士会にしていきたいという強い気持ちで3期目に臨みたいと考えております。

理事候補

平野 正樹

錦海リハビリテーション病院



この度、鳥取県作業療法士会役員候補者選挙に立候補させていただきます、平野正樹と申します。2006年に錦海リハビリテーション病院に入職し、回復期リハビリテーション、訪問リハビリテーション、養成校の非常勤講師、JRATによる災害時リハビリテーション支援活動に従事してまいりました。現在、日本での作業療法士の有資格者数は10万人を超え、その実践場所も医療、福祉、教育、産業分野など多岐に渡る対応力（質の高い作業療法士）が求められています。これまで培ってきた知識や経験を活かし、生涯教育や災害時リハビリテーションなどの教育分野に尽力したいと思いい立候補いたしました。何卒よろしくお願い申し上げます。

理事候補

西村 純一

医療法人 共済会 清水病院



令和2年より1期の間、鳥取県作業療法士会の総会議事運営委員会、選挙管理委員会の活動に取り組ませていただきました。世の中がウィズコロナへと舵を取る中、鳥取県作業療法士会での社員総会、役員選挙の在り方について検討し、ウィズコロナに対応できるよう規約の改定等に取り組んでまいりました。しかし洗練されたシステムの構築には至っていないため、前期の経験を生かして継続させていただければと思います。また、社員総会、役員選挙を法的な定義で見ると難しく畏まったイメージだと思います。そのため、社員総会、役員選挙の実施方法、広報についてアップデートしていき、社員の皆様にも社員総会や役員選挙を少し身近に感じていただけるよう、今後も引き続き取り組ませていただければと思います。皆様何卒よろしくお願いいたします。

令和5年度 鳥取県作業療法士会 理事会推薦者一覧

理事候補	土井 宣幸	鳥取県済生会介護老人保健施設はまかぜ
<p>このたび、鳥取県作業療法士会理事に就任させていただきます老健はまかぜの土井宣幸と申します。新型コロナウイルスも感染症分類の5類へ移行することとなり、これから少しずつコロナ禍前の生活様式に戻っていくことが予想されます。鳥取県作業療法士会としても今まで以上に会員の皆さまの学びの場の確保、県民への作業療法の普及啓発や健康増進への活動を活発化していく必要があります。鳥取県作業療法士会の発展のため微力ながら協力できればと考えています。よろしくお願い申し上げます。</p>		

理事候補	来間 寿史	デイサービスつむぎ通所発達支援
<p>この度、理事会からのご推薦を受け新たな理事として活動させていただくこととなり身の引き締まる思いです。私は長年作業療法に携わっていますが小児領域しか経験がなく、他領域の仲間との新たな繋がりができることに期待しています。近年の小児領域においては全国的に保育所・学校との協働がテーマとなっており、地域の子をその地域の作業療法士で支援していく人材育成が課題となっております。これまで小児領域に携わってこられなかった方にも関心を持っていただけるような研修の機会を提供できるよう頑張っていきます。よろしくお願い致します。</p>		